

萩市における「やまぐち型地域連携教育」推進構想

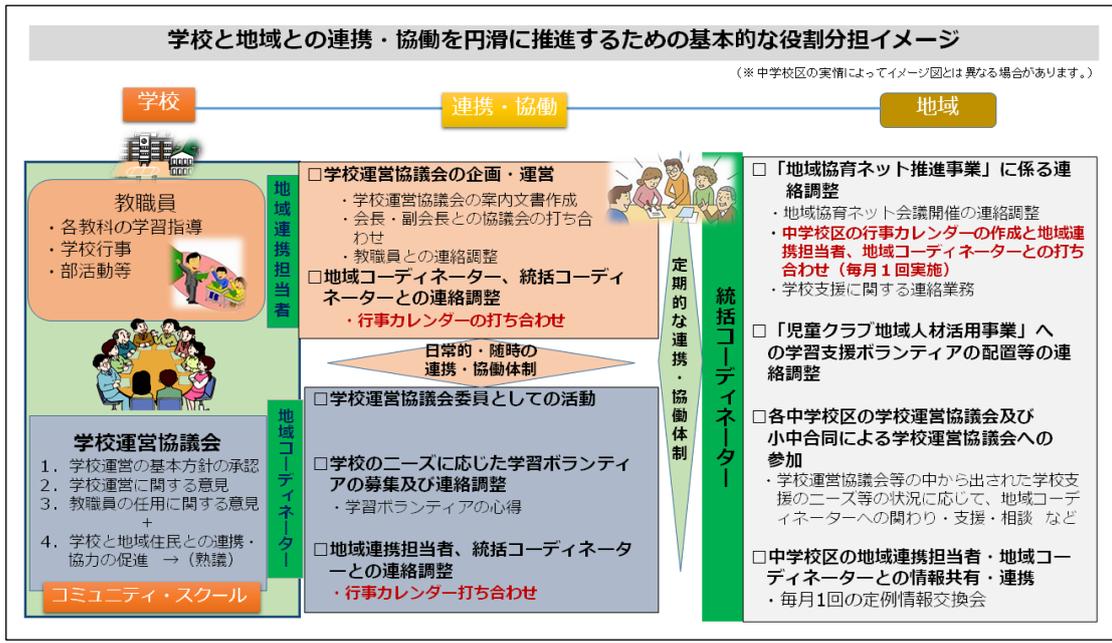
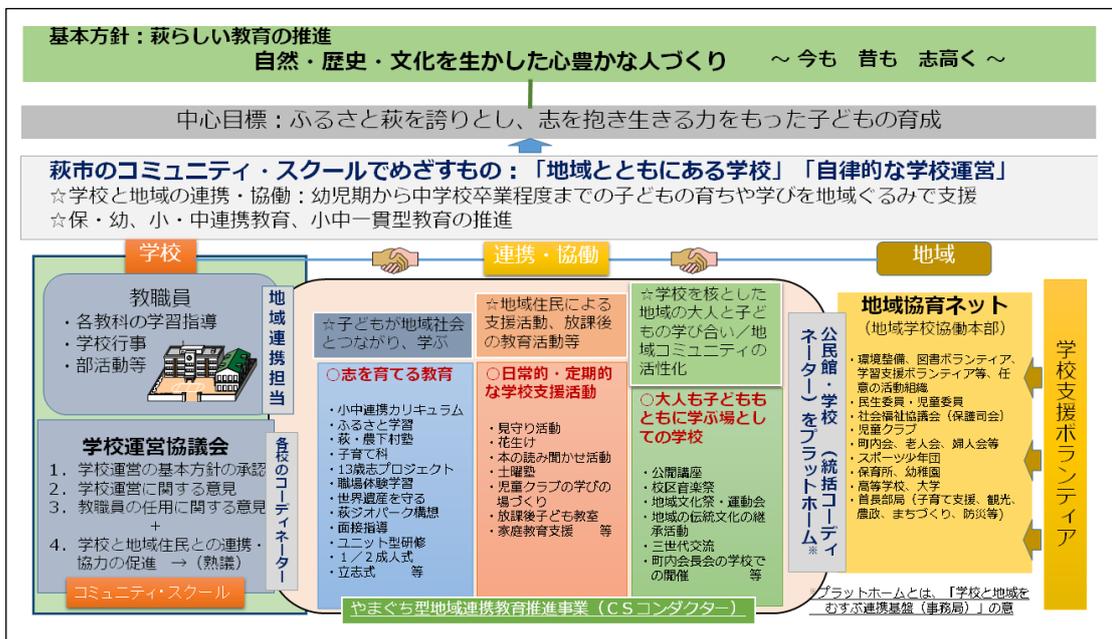
① 基本方針

萩らしい教育の推進

自然・歴史・文化を生かした心豊かな人づくり

～今も昔も志高く～

② 推進体制



③ CSコンダクター・市町教育委員会の具体的な取組等

やまぐち型地域連携教育推進事業

平成29年度

文部科学省

山口県教育委員会

萩市教育委員会

萩市コミュニティ・スクール及び地域協育ネット推進協議会

萩市モデル校区連絡協議会

小中分離・
連携型

田万川中学校

小川小学校

多磨小学校

小中隣接・一貫型

川上中学校

川上小学校

むつみ中学校

むつみ小学校

小中併設・一貫型

三見中学校

三見小学校

大井中学校

大井小学校

○小中一貫教育

山口CSコンダクターの役割

【小中分離・連携型モデル校】

- 学校運営協議会充実のための支援
- 各中学校区における「学校運営協議会の小中合同開催」への支援
- 小中共通の視点に立った学校評価項目の作成・実施への支援
- 9年間の学びや育ちを系統的にとらえた「小中連携カリキュラム」の作成・実施への支援

【小中併設・一貫型モデル校】【小中隣接・一貫型モデル校】

- 学校運営協議会充実のための支援
- コミュニティ・スクールの機能を生かした小中一貫教育の推進支援(小中一貫カリキュラムの作成・充実への支援)
- 小中共通の学校評価票の作成・実施への支援

【モデル校以外の学校】

- 要請に応じて、モデル校区以外の学校への支援

【共通取組事項】

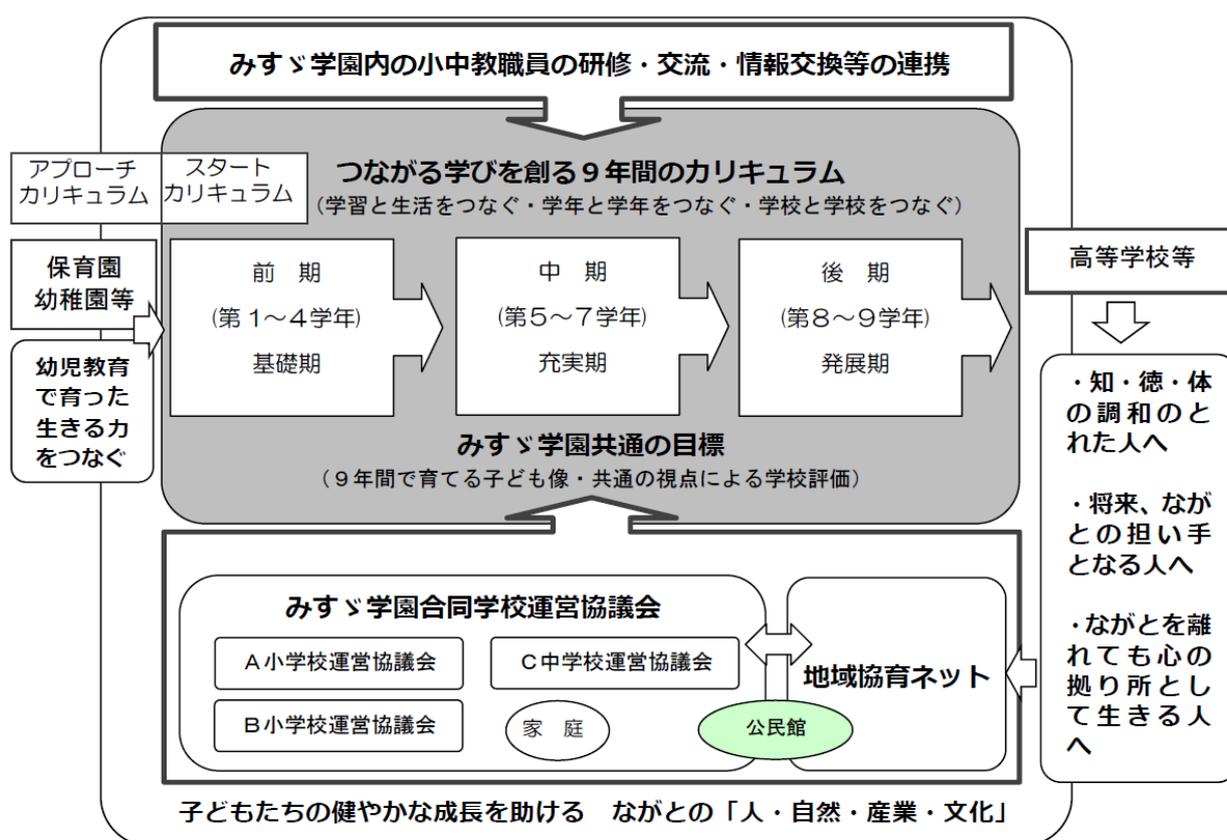
- 学校運営協議会開催にあたっての事前協議や「熟議のもち方」等、学校の取組への助言
- 地域連携担当者、地域コーディネーター、公民館・統括コーディネーター間の連携への支援
- 地域協育ネットにかかわる支援

平成29年度長門市 学校運営協議会の機能を生かした取組の推進

1 推進の概要

市内各中学校区（みすゞ学園）で、地域の特性や児童生徒の実態を踏まえた学校の課題を地域住民と教職員が共有し、協働して課題解決にあたる仕組みを成熟させる。また、コミュニティ・スクールを核として地域協育ネットの活用を図りながら、9年間の子どもの学びや育ちを支援していく。そのために、みすゞ学園内での合同学校運営協議会や教職員の研修会を充実させる。また、CSコンダクターが中心となり、各学校や各中学校区（みすゞ学園）に対して指導、助言、情報提供等を行っていく。

2 推進構想図



3 教育委員会の具体的な取組等

- 学校運営協議会への参加、助言（CSコンダクター、指導主事、社会教育主事等）
- 山口県が主催する研修会等への参加（学校運営協議会委員、教職員、担当者等）
- 各中学校区教職員による小中合同研修会の実施、カリキュラムの見直し等の助言
- ふるさとを愛する心の育成に係る社会科副読本「わたしたちのまち ながと」の改訂版発刊
- 公民館長を中心とした学校のニーズに応じた地域協育ネット活用の啓発
- 各校のコミュニティ・スクール推進に係る予算措置

長門市地域協育ネットの概要

1 地域協育ネットとは

山口県が平成23年度から提唱。「概ね中学校区を単位とした、子どもたちの15年間の育ちを地域ぐるみで見守り、支援するための仕組み」

山口県教育振興基本計画～未来を拓く たくましい「やまぐちっ子」の育成～

緊急・重点プロジェクト：①地域ぐるみの教育推進プロジェクト

- (1)学校・家庭・地域の連携により子どもたちの育ちを支援する「地域協育ネット」の推進
- (2)開かれた学校づくりを推進する「コミュニティ・スクール」の普及・促進

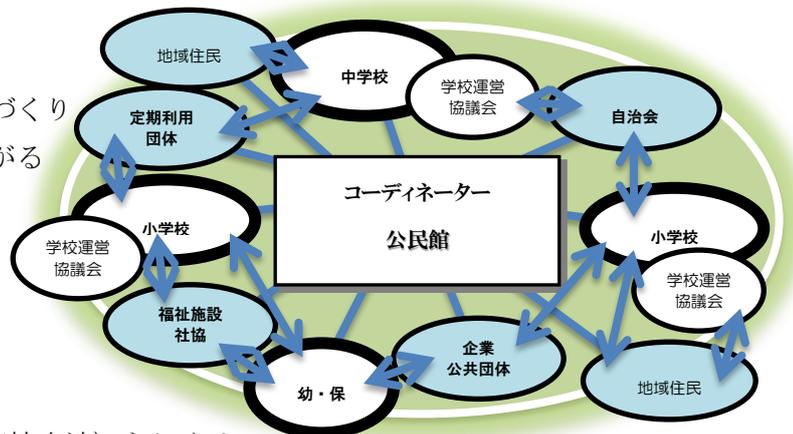
2 長門市の地域協育ネット

市内の中学校区と公民館の範囲がほぼ等しいことから、公民館が持つ既存の組織を推進母体とし、コーディネーターは各公民館の館長又は主事が担当。

学校のニーズに合わせ、地域住民の支援の輪を広げる。公民館を介す支援と、公民館を介さない支援の形がある。

3 目的・効果

- ① 地域ぐるみで子どもを育む意識の輪づくり
→公民館が関わることで支援の輪が広がる
- ② 生涯学習の成果の生きた活用
→地域社会における居場所づくりや、生きがいをつなげる



4 支援の流れ

- ① 従来通りの人材確保（学校からの直接交渉）もしくは、
公民館を介しての人材確保（公民館は人材バンクから適任者を紹介、活動内容等の説明の後に連絡先を交換）
- ② 学校から支援者に正式依頼
- ③ 実施後は学校から公民館に報告
- ④ 公民館から生涯学習スポーツ振興課へ報告（集約）

5 予算措置

必要な消耗品・切手を予算内で支給

6 研修会の開催

教職員や公民館職員をはじめ、学校支援関係者や公民館の企画運営に携わるものを対象とした研修会を実施し共通認識を深め、資質の向上を図る。

③ 町教育委員会の具体的な取組等

- ・ 各校が進めていくコミュニティ・スクールの取組において、好事例を普及・啓発することにより、町内の水準化を図る。
- ・ 各校開催の学校運営協議会議が円滑に行うことができるように支援する。CSコンダクターに可能な限り会議に参加いただき、アドバイスを受ける。担当指導主事や社会教育主事が、各プロジェクトの会議等に参加する。
- ・ 総合教育会議で、町長や関係部局にコミュニティ・スクールの必要性や成果を説明し、地域連携教育推進に向けて首長部局との連携体制を築く。
- ・ 町内の全小中学校の教員や学校運営協議会委員が参加する町全体としてのコミュニティ・スクール研修会を行い、町全体のネットワークを高める。
- ・ 萩ケーブルネットワークや町広報誌等の報道機関の協力をいただきながら、コミュニティ・スクールの取組を地域住民に発信し「地域とともにある学校」をアピールしていく。
- ・ 学校教職員と学校運営協議会委員を対象にしたコミュニティ・スクールに関する町独自のアンケートを実施し、学校と地域の協働体制や連携を強化する。



全教職員や学校運営協議会委員を対象にコンダクターによる研修講話を実施した。



萩ケーブルネットワークの協力を得て、取組を地域住民へ情報発信した。

学校運営	②	□学校の課題や成果を公表し、保護者や地域住民の理解や承認を得ている。	3	3	1	1	87.5
	③	□学校運営協議会では、教職員や協議会委員がしっかりと話し合える場や関係性が構築されている。	4	2	1	1	89
	④	□学校課題の解決に向けて、保護者や地域の協力を得られている。	3	4	1	1	85.7
	⑤	□学校運営協議会委員の参画による経営参画や評価により、教職員の人材育成が図られている。	1	2	2	1	84.3
	⑥	□学校での取組や学校運営協議会での協議内容が、保護者・地域に発信されている。	4	1	1	1	87.5
	⑦	□保護者や地域住民がボランティアで積極的に学校へ関わっている。	5	2	1	1	92.9
学校支援	⑧	□学校では、地域の「ひと・もの・こと」を取り入れた学習や体験活動を仕組んでいる。	5	2	1	1	92.9
	⑨	□いじめ・不登校・暴力等、生徒指導に関する課題に向けて学校運営協議会が関わり改善が図れている。	1	2	2	1	88.7
	⑩	□保護者や地域の方の協力により学校の施設や環境が整備されている。	5	1	1	2	90.8
	⑪	□地域住民の実績により、児童生徒の登下校安全が図られている。	5	1	1	1	90.8
	⑫	□地域がボランティアの支援により、教員が子どもと接する機会を得ている。	2	3	2	1	84.4
	⑬	□地域がボランティアの支援により、教員が子どもと接する機会を得ている。	3	2	1	1	82.9

学校と運営協議会委員の意識の連携を高めるために、独自のアンケートを実施した。



阿武町コミュニティ・スクール研修会を行った。阿武町としてのプロジェクトを提案した。

学校運営に係る取組

萩市立椿東小学校



学校課題の解決に向けて、学校・家庭・地域が一体となって様々な取組を始めた。確かな学力育成プロジェクト部会が提案した「姿勢コンテスト」の実施により、授業中の子どもたちの姿勢に大きな改善が見られた。

萩市立多磨小学校



学校運営協議会の4つの専門部は、育友会組織及び学校職員プロジェクトチームと全てリンクしている。「地域のみんなが集う5年後の学校づくりに向けて～今からできること～」をテーマに、全教職員も参加して熟議を行い、新しいアイデアが検討された。

萩市立弥富小学校



学校運営協議会において、地域素材を生かして「学校の教育活動として取り組むこと」「地域の教育活動として取り組むこと」について熟議を行った。委員の方にも教職員にも地域とのつながりを意識する好機となった。

萩市立佐々並小学校



第3回学校運営協議会では、テレビ会議システムを使って明木小・旭中とつなぎ、第1回学校評価結果からの課題について、2グループに分かれて熟議をした。

萩市立大島小学校・大島中学校



来年度から小中一貫校となり、小3から中3までの縦割り班で「ふるさと大島学習」を行う。そこで、大島の何を学ぶか、中学生と学校運営協議会委員・教員がそれぞれの立場で考え、熱く意見を交わした。

萩市立旭中学校



学校運営協議会の熟議に中学3年生が参加し、旭地区の課題等について協議会委員の皆さんと意見交換を行った。

「やまぐち型地域連携教育」による地域創生に向けて

萩市教育委員会 山口CSコンダクター 蒲 勉



「やまぐち型地域連携教育」の萩市での取組で注目したいのが、中学校を中心に少しずつ進んでいる生徒の地域行事等への参画です。CSの機能の一つに地域貢献がありますが、一般的に行われることが多いのは、地域ボランティア活動としてのゴミ拾いや清掃活動、お祭り等での合唱披露など地域行事への一部参加です。こうした活動により、地域のために貢献できたという自己有用感を味わうことはできますが、ある中学校では地域行事に企画段階から中学生が参画し、当日の運営まで携わることで地域の一員としての自覚を高め、自己有用感や大きな達成感を味わっています。この取組の広がりが、地域創生にもつながるものとして期待をしているところです。

学校運営に係る取組

長門市立浅田小学校



学校運営協議会において、昨年度設置した「あさだ寺子屋」（コミュニティルーム）の活用について熟議を行い、様々な活用法が提案された。

長門市立神田小学校



ユニット型研修を行い、学校運営協議会の委員に授業参観と研究協議会に参加してもらった。授業改善に向けて、新たな視点から貴重な意見をいただいた。

長門市立仙崎中学校



学校運営協議会では、生徒とともに学校の課題を協議する場を設けた。3部会に分かれ、それぞれの立場でどんなことができるか話し合った。

長門市立深川小学校、向陽小学校、俵山小学校、深川中学校



深川中学校区の「小中4校合同学校運営協議会」を開催し、「いじめのない学校づくり」をテーマとした熟議を行った。学校・家庭・地域がそれぞれの立場でできることについて話し合った。

長門市立日置中学校



学校運営協議会では、教職員や保護者、地域の方が学力向上・心身安全・地域連携の3グループに分かれ、熟議を行った。学校公開日のアイデアの提案や絵手紙教室への協力など、具体的な様々な取組に結びついた。

阿武町立阿武小学校



地域の様々な団体の方を招き、授業参観と給食試食会『給食べちゃおう会』を年8回にわたって実施した。その中で、学校運営に関する感想や意見をいただいた。

コミュニティ・スクールの仕組みを生かす

長門市・阿武町教育委員会 山口CSコンダクター

藤本 憲司



いつの時代も「人は人を浴びて人になる」と言われるように、子どもたちは、学校・家庭・地域で、いろいろな人々と関わり様々な体験を重ねていく中で成長していきます。

そのためには、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たしながら地域総がかりで子どもを育む体制をつくる必要があります。地域総がかりで子どもを育む具体的な仕組みとして、コミュニティ・スクールや「地域協育ネット」の取組は効果的といえます。コミュニティ・スクールの取組を円滑に進めるためには、熟議を通して学校・家庭・地域が立場の違いを超えて理解し合うことが大切です。

今後も、各校でコミュニティ・スクールの仕組みを生かした取組が、さらに充実するよう取り組んでいきたいと思ひます。

学校支援に係る取組

萩市立明倫小学校



読み聞かせボランティアの方々が、毎年手作りの明倫紙芝居「みんなの明倫〜今むかし」を見せてくださる。地域の方だからこそ伝えられることがあり、「明倫小」と「ふるさと萩」への愛着と誇りが一人ひとりの心に湧き上がった。

萩市立越ヶ浜小学校



5年生がふるさと学習の一環として、「ふるさとの海を守るために、自分たちができること」をテーマに藻場保全学習を行っている。山口県漁協越ヶ浜支店や浅海漁業者の協力で乗船し、藻場に出かけ海藻の母藻投入を行った。

萩市立白水小学校



図書室の整備の一環で、ときわサロンの方々に本を修理していただいた。その後、地域の財政支援と人的支援を受け、図書データのデータ化が終了した。

萩市立育英小学校



毎週水曜日の職員会議の間、地域の学習ボランティアの方々が、5・6年生を対象に放課後学習会を実施している。月に1回は、学級担任と学習ボランティアの情報交換を実施している。

萩市立相島小学校、相島中学校



地域の方からスイカの植え付けを教わった。品質を維持するために厳しい栽培管理が求められるため、児童生徒は作業を真剣に行った。

萩市立萩西中学校



1年生の技術・家庭科の木工の実習において、地域の方が技術指導に来られ、生徒の技能の向上につながった。

萩市立川上中学校



学校課題の解決とふるさとを愛する心の育成として、「朝ごはん教室」を実施した。食生活改善推進委員と小学生との縦割り班で、地域産物を使ったメニュー作りと調理実習により、朝食についての認識を深めた。

萩市立むつみ中学校



総合的な学習の時間の「ふるさと学習」では、むつみ神楽保存会の方を講師に迎えて伝統芸能を学び、文化祭で神楽を発表した。

萩市立三見小中学校（小学部）



ふるさと学習において、地域の有識者にご協力いただき、地元の歴史的・文化的文物について学習し、ふるさとについての理解を深めた。

学校支援に係る取組

萩市立見島小中学校



地域の方に授業に参加していただく「子どもに帰ろうの日」の取組は、児童生徒のコミュニケーション能力の育成の一助となった。

萩市立福栄小中学校



福栄地域探訪遠足では、子どもたちは、福栄の「ひと・こと・もの」に支えられながら、ふるさと福栄の秋を体感しつつ、全行程踏破し、様々なことを学ぶことができた。来年度以降も9年間毎年コースを変え、子どもたちと教職員と一緒に福栄地域について学びを深めていく予定である。

長門市立深川小学校



昼休みに、2年生のかけ算九九の暗唱を行った。「九九けんてい」の時間として、保護者や学校運営協議会委員、深川寺子屋指導者など、多くの方のご協力をいただくことで、子どもたちの意欲が大いに高まった。

長門市立向陽小学校



年間に9回あるクラブ活動（花、絵手紙、竹細工、手芸、スポーツクラブ）に地域の方を講師として招いた。子どもたちも楽しく活動した。

長門市立俵山小学校



公民館だよりにて、学校支援ボランティアの募集・活動日の情報発信等を行っていただいている。公民館の支えが関係団体との連携強化・拡充へつながっている。

長門市立浅田小学校



毎年、地域の方がわら・うらじろ・ゆずり葉・みかんなどの材料を準備してくださり、しめ縄作りの指導をしていただいている。今年度も縦割り班ごとに協力し合って、一人一つずつ立派なしめ縄飾りを作ることができた。

長門市立向津具小学校



三代交流活動で米作りを行った。地域の人から指導を受け、田植え、稲刈りを行った。冬には、餅つきをして地域の人との交流を深めた。

阿武町立福賀小学校



交通安全協会福賀分会の皆さんに、自転車の点検・整備をしていただいた。自転車通学生が感謝するだけでなく、児童の「子ども自転車大会」出場への意欲付けとなった。

阿武町立阿武中学校



学校支援ボランティアとPTA環境整備部が連携して、緑のカーテン（ゴーヤ）ネット張りを行った。

地域貢献に係る取組

萩市立明倫小学校



ボランティア委員会の新たな取組として、児童が地域の独居老人へ「メッセージ入りのうちわをプレゼントした。うちわを受け取ったみなさんの笑顔を見て、児童は自己有用感を高めた。

萩市立椿東小学校



5年生が、松陰読本を通して学んだ分かったことや感じたことを観光客に伝える「松陰ガイド学習」を展開している。伝えたいことを紙芝居やペープサート、クイズ形式など、様々な方法で工夫して発信している。

萩市立椿西小学校



ラジオ体操で元気な地域をめざして、毎週水曜日に地域にも呼びかけ全校ラジオ体操を実施している。保育園への出張指導や夏休みの地区合同ラジオ体操等で児童が手本として活躍している。

萩市立小川小学校



3・4年生が「小川ささえ隊」の活動に参加し、小川地区の多くの高齢者とふれ合いながら一緒に七夕飾りを作り、楽しく活動した。

萩市立むつみ小学校



地域の祭りの一区画を使い、児童が考えて準備したゲームで、来場した方々をもてなした。

萩市立明木小学校



彦六・又十郎伝保存会の方に指導していただき、地域行事である「明木・農業文化祭」にて、劇「彦六・又十郎」を発表し、地域に元気を届けた。

萩市立越ヶ浜中学校



従来の小中合同の地域清掃から、地域住民を巻き込んだ合同ボランティア大作戦に発展した。CS「心プロジェクト」が主管となった取組で、地域自治会との連携も一層深まった。

萩市立萩東中学校



11月、様々な分野で活躍されている地域の方々を講師に招き、本校を会場に公開講座を開催した。今年で4回目の開催となり、11講座・200名を超える受講生からは、次回も参加したいと好評を得た。

萩市立田万川中学校



江崎地区社会福祉協議会主催の「ミニミニ縁日」に、小・中学生がスタッフとして参加した。

地域貢献に係る取組

萩市立須佐中学校



須佐ふるさとまつりに参画し、準備から片付けまで行った。地域から出されたお店も手伝った。また、中学校からも出店した。

萩市立大井小中学校



大井ふるさと祭りでは、中学部がゲームを出店した。今年度は企画運営の会合に生徒も参加して、地域行事に主体的に関わる意識が高まった。

長門市立仙崎小学校



地域の祭り「みすゞ七夕笹まつり」に、仙小マーチングバンドの演奏をはじめ、全校児童が様々な形で関わっている。

長門市立明倫小学校



第3回三隅クリスマス会を6年生が企画し、公民館や中学校、地域に働きかけ、準備・運営を行った。今年度は過去最高の参加者数となり、「三隅を盛り上げよう」というねらいを達成できた。

長門市立日置小学校



6年生が、お年寄りにもできる「柔軟体操」を自分たちで考え、地域の敬老会で披露した。一緒に活動することで交流を深めた。

長門市立油谷小学校



毎月1回、フリー参観週間にあわせて、地域の方が授業を聴講する時間を設けた。「何十年ぶりに学校に来た」「元気をもらった」などの感想をいただいた。子どもたちも学習の励みになっていた。

長門市立三隅中学校



地域の文化祭にボランティアとして参加し、社会福祉のための募金活動を行った。

阿武町立阿武小学校



6年生が、国語科・総合的な学習の時間を利用して、「ようこそ私たちの町へ」と題した地域の宝物調査を実施した。その結果をパンフレットにまとめ、阿武町の全家庭に配布した。

阿武町立福賀小学校



「福賀大農業祭り」を盛り上げるために、太鼓の披露をした。その後、学校田で育てた餅米を安価で販売した。また、来場者への感謝の気持ちを込めて無料のマッサージ「孫の手屋」を開いた。

学校(園)が連携した取組や地域ぐるみの取組

【かさやまネット】
萩市立越ヶ浜小学校、
越ヶ浜中学校



地域協育ネット（かさやまネット）での話し合いを経て、越ヶ浜地区、後小畑地区、越ヶ浜小学校・越ヶ浜中学校の四者の合同地震・津波対応の避難訓練を実施した。

【木もれ陽ネット】
萩市立木間小学校、木間中学校



地域との合同による防災避難訓練を実施した。地域住民の防災意識及び児童生徒の地域防災の担い手としての意識を高めることができた。

【夏柑ネット】
萩市立明倫小学校、椿東小学校、
椿西小学校、萩東中学校



中学校区の3小学校と連携し、中学校のテスト期間（1週間）に合わせてノーメディアウィークの取組を実施した。家庭との連携も取りやすく好評で、今後も継続して実施していく。

【南天ネット】
萩市立川上小学校、川上中学校



学校運営協議会が主体となって「カヌー阿武川下り」を実施した。小中の教職員や保護者、地域の方、カヌー連盟が連携して準備・運営を行った。

【ゆずきちネット】
萩市立小川小学校、多磨小学校、
田万川中学校、田万川保育園



「家庭学習の手引き」を、「たまたがわ地域協育ネット協議会」で作成し、地域に配付した。

【さんさんネット】
萩市立三見小中学校



地域社会に貢献しようという子どもたちの意識の向上と実践力の育成を図るため、地域の消防団・公民館・社会福祉協議会・学校運営協議会等の協力を得て、地域ぐるみの防災キャンプを実施した。

学校運営協議会は校長による授業そのもの

統括コンダクター

池田 廣司



「地域とともにある学校づくり」を学校の立場で考えてみると、まず学校運営協議会で目標やビジョンを委員同士で共有することが大前提となります。そのためには、学校の経営者である校長は、教育課程を含めた経営方針をわかりやすく説明するとともに、学校の諸課題を開き、分かち合う場づくりが必要です。学校運営協議会委員は、校長の真の思いにふれることで、そこから地域のネットワークを生かした連携・協働の輪が広がっていくのです。

私は、学校運営協議会は、校長による授業そのものと考えています。今後、校長は未来の地域を担う子どもたちのよりよい成長のためにという原点に立って、一回一回の学校運営協議会をより一層充実させてほしいと願っています。

学校(園)が連携した取組や地域ぐるみの取組

長門市立通小学校、通公民館



地域と学校が一体となって取り組む「くじら祭り」では、和船競漕に出場したり、鯨唄を披露したりして、昔から伝わる素晴らしい文化を伝承している。

長門市立通小学校、仙崎小学校



仙崎小、通小、名池小(下関市)の3校の児童が、金子みすゞさんの詩や生涯について共に学習することを通して、互いの学びや交流を深める「みすゞさん・さん交流会」を行った。

長門市立俵山小学校、俵山公民館



「生きがい大学」にて、1・2年生がかかるたとり等で高齢者と交流を図った。参加者の「月に一度、こんな活動があればいいね」の一言に、児童は大変満足していた。

長門市立日置小学校、
神田小学校、日置中学校



小・中学生と地域住民と一緒に清掃活動をする「クリーン・ウォーク in 日置」を実施した。休日にもかかわらず、たくさんの方の参加があった。

長門市立菱海中学校、
油谷中央公民館



3年音楽の授業で、公民館活動「おしかけ、ふれあい塾」と連携し、外部講師を招聘して「詩吟教室」を実施した。生徒は、日本の伝統文化に触れ、豊かな感性を培った。

阿武町立阿武小学校、
阿武中学校、みどり保育園



保・小・中と町役場総務課が連携して、地震・津波対応避難訓練を実施した。参加者の自助・共助の意識を高めることができた。

一人ひとりが輝き、お互いが響きあう油谷のまちへ
～学校・社会福祉協議会・公民館のトライアングルプロジェクト～

油谷みすゞ学園コーディネーター

田村 洋子



私の住む長門市油谷では、地域総がかりで子どもを育てる取組と並行して、高齢者が安心して暮らせるまちづくりも行っています。月1回のペースで実施している「授業聴講・カレーの日&サロン会」は、一人ひとりが輝き、お互いが響きあう関係づくりを油谷小学校の地域交流室から発信しています。ここに参加する高齢者や地域住民は、子どもたちに関わることによりエネルギーを得ると同時に、学校や子どもたちに関心が深まり、楽しみや生きがいにもつながるようになりました。また、大人が喜びや楽しさを分かち合いながら、それぞれの立場での思いを大切に取組むことにより、子どもたちにふるさとを愛する心の育成を図っています。地方創生のプラットフォームであるコミュニティ・スクールを活用しながら、いろいろな方々とのつながりを大切にし、油谷の地域全体がもっと幸せになることを願うばかりです。